

公表：2023年3月24日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

保護者数(児童数)：3名

回収数：3枚

割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえての改善点
環境・ 体制整備	1	お子様の活動等のスペースが十分に確保されていますか	3				
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	3				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか	3				
適切な支援の提供	4	お子さまと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていますか	3				
	5	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか	2	1			保護者の方やお子様の要望をお聞きし、具体的な目標や支援内容を設定します。
	6	児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか	3				
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか	3				
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか	3				
	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	3				
保護者への説明責任等	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	3				
	11	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われていますか	2	1			ペアレントトレーニングはしていませんが、親子で実施する行事の中でご家族の方の困りごとを聞いています。次年度は保護者の方にもご参加いただける行事を増やしていきたいと考えています。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	3				
	13	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	3				
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	2		1	・まだ短い期間なので分からない。	
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	3				
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	3				
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか	3				
	18	個人情報の取扱いに十分注意されていますか	3				
非常時等の対応	19	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が行われていますか	3				
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか	2	1			長期休暇日に避難訓練・防災訓練は実施していますが、お子様全員が参加できていません。お子様全員が参加できるように検討していきます。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしていますか	3				
	22	事業所の支援に満足していますか	3				

公表：2023年3月24日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

職員数：8名 回収数：8枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見・工夫している点、改善点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	1	・人員配置は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			・トイレ、段差、手すり等、様々な場所でバリアフリー化の配慮をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1		・月に1回、会議を実施し、日々のミーティングの中で目標について振り返りを行い改善に向けて話し合っている。 ・会議やミーティングで話し合いの時間を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		・1年に1回、保護者の方に評価表アンケートを実施している。 ・アンケートの結果や意向をもとに職員で話し合い、業務改善に繋げている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		・年度末にホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	・第三者評価は今後、検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		・研修の案内を提示し、誰もが参加しやすいよう情報提供している。 ・法人内外の研修に定期的に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		・半年に1回はモニタリングを行い、お子様や保護者の方のニーズや課題の把握に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		・課題の整理表、スキルアップアセスメントシートを用いて、お子様の状況を確認している。 ・専門機関での検査をもとに話し合っている。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		・課題の整理表での子どもの状況を把握し、それに応じた支援計画を立て職員間で支援を共有している。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1		・ガイドラインに沿って立てている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		・お子様に応じたプログラムを準備しお子様とも話し合いながら活動プログラムを立てている。 ・それぞれの担当が案を出し合って活動に取り組んでいる。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・担当職員が中心に活動プログラムを考えている。 ・季節によって行事や活動を変更している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	1		・個別で課題に取り組む時間と集団で活動する時間に分けている。 ・年齢や発達特性に応じて計画を作成している。
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・朝礼やミーティングファイルにて、予定や報告など打ち合わせを行っている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		・申し送り事項は、翌日の朝礼やミーティングファイルなどで周知している。
関係機関や 連携者 と	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			

関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		
	22	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・送迎時、子ども園とは連携を図り情報共有している。
	23	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・定期的に専門機関と連携し、助言や研修を受けている。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	・同法人内での行事(フェア)に参加し、地域の子どもとふれあう機会を設けている。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8		・地域自立支援協議会への参加はしていないが、阿波市・吉野川市管内の子ども部会に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・送迎時や電話、LINEなどでお伝えしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1	・ペアレント・トレーニングは当事業所では行っていないが、他機関での実施の案内や情報提供はしている。相談があれば迅速に対応し、関係機関に繋げている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		・利用契約時や問い合わせがあった際に説明を実施している。
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		・支援計画の説明をした上で、同意を得てサイン、押印をもらっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・親身になって相談を聞くことを心がけ、支援方法等を職員間で話し合いお伝えしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	・コロナ禍の状況で行事を縮小していたが、少人数での「親子ふれ合い会」などの行事を実施し、短時間での話し合いの場を設けた。今後は増やしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・きららだより、LINE連絡、ホームページで活動や行事の予定を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	・様々な伝え方や発信の仕方に配慮し意思の疎通を図ることを心がけている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	・月に1回、同法人内での行事(フェア)に参加し、地域の方とのふれあいを大切にしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	・マニュアルを作成しているが、お子様と一緒にシミュレーションし、実際に発生した想定で訓練を実施するとともに家族の方にも報告していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		
	40	事前に、服薬、予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	1	・事前に保護者から聞き取りを実施し、職員間で共有、周知している。 ・また、病気等については研修会を実施し職員間で理解を深めている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	・保護者から事前にアレルギーの有無を確認している。アレルギー検査を実施しているお子様は、検査表のコピーを任意で頂いている。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		・毎月、リスクマネジメント検討委員会を開催し、ヒヤリハットや事故未然防止について話し合いを実施している。 ・毎月のヒヤリハット事例を収集し、事例集を作成し、次年度の改善に役立てている。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8		・事前に重要事項説明書にて保護者の方への説明、承諾を得ている。 ・今後、身体拘束適正化委員会で話し合いを実施し、支援方法や法令について職員間で共通理解を図るようにしている。

公表：2023年3月24日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

保護者数(児童数)：37名 回収数：37枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえての改善点
環境・ 体制整備	1	お子様の活動等のスペースが十分確保され設備等の設置は適切に配慮されていますか	34		3	・外で活動するスペースがあり、子どもは喜んでいる。 ・定員数が増えたことで、活動スペースが狭いのはと感じる時がある。けれど、先生方も工夫して(分散させて)支援して下さっているのが毎日感謝している。 ・配慮されていると感じる。	・お子様の人数に応じて活動を分散しています。活動内容やお子様の発達特性によりグループの人数や活動スペースを変えています。
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	35		2	・お迎え時に挨拶をしても気づかれないことが多々ある。また、職員が気付いても、子どもと話すだけで挨拶がない時がある。 ・申し分ないと感じる。 ・個別での対応を必要とするケースでは、個別支援を行えるほどのスタッフはいないと感じる。	・配置基準は満たしているが、十分な個別対応体制が整っておらず、今後人員配置や環境を見直します。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか	35		2		・設備はバリアフリーとなっています。
適切な 支援の 提供	4	お子さまと保護者のニーズや課題をよく理解した上で個別の支援計画が作成されていますか	36		1	・心配事も盛り込んだ計画を立ててくださっている。 ・毎回支援計画を作成する時に、こうして欲しいとかあればとか、今悩まれていることがないかなど、保護者に寄り添って話して下さるので助かっている。色々考えて下さりありがたい。 ・日頃のやり取りの中から、気持ちを理解した上で作成して下さっていると感じる。 ・計画はモニタリング後立案されていたが、実施に対しては不明で疑問が残る。	
	5	日々の支援の中で一定の目的をもって行われる個々の活動が固定化しないよう工夫されていますか	33		4	・工夫されていると感じる。本当によく考えて下さっている。	
保護者 への 説明 責任 等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされ理解されていますか	36		1	・毎回すぐ丁寧にご説明いただいている。ご多忙の中いつも頭が下がります。	
	7	お子さまの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について話し合いをもち理解ができていますか	36		1	・気になることなどは、送迎時に伝えて下さり助かっている。 ・迎えに行くたびに、その日のきららの様子を伝えて下さるので良い。 ・送迎時だけでなく、LINEなどでいつでも質問や話ができる環境を整えて下さっている。	
	8	育児に関する助言等の支援が行われていますか	33		4	・相談をよく聞いて下さる。 ・気付きをすぐに伝えていただけるため安心できる。	
	9	お子さまや保護者からの苦情対応について、体制が整っていることを説明されていますか。また、お子さまや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応していますか	34		2	・どんなことも迅速に対応してくださっている。 ・預かりであり、療育ではなかったように感じる。要望は伝えてきたが、結局は伝わっていないのだと振り返り思う。	・玄関に相談ボックスの設置。また、電話やLINEで保護者の方の悩みや相談を受けています。
	10	お子さまや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	33		3	・LINEなどで相談しやすい。 ・先生方も情報伝達がスムーズだと感じる。 ・送迎時、いつもより遅い場合連絡が欲しい。 ※回答無し1名	・要望に応じて迅速に対応し改善していけるように様々な方法での伝え方や、職員間での情報共有の仕方も工夫をしていきます。
	11	定期的におたより等で、活動の内容や行事の予定などをお子さまや保護者にお知らせしていますか	37			・コロナ禍で仕方ないと思うが、以前のようにバス遠足に行きたい。 ・いつも早めに活動内容等のお便りをくれるので助かっている。 ・おたよりだけでなく口頭でも詳しく伝えて下さっている。	
	12	個人情報に十分注意していますか	35		2	・十分注意して下さっているため安心している。	
非常 時の 対応	13	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	35		1	・周知できるよう丁寧にご説明いただいている。	
	14	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか	32		3	・避難訓練をしているか分からないが、もしもの時、すぐに動けるように子どもたちにどうしたらいいか伝えてほしい。 ※回答無し2名	・長期休暇日を利用し、防災・防犯の避難訓練を実施し、いざという時にどう動いたらいいのかを学べるようにします。

満足度	15	子どもは通所を楽しみにしていますか	32	4	1 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇日でも楽しく通うことが出来ている。 ・最初は、不安もあり泣いたりしていましたが、今はきらが楽しいと言っている。 ・他の学校の友だちもできて嬉しいようです。 ・特にパソコン講座を楽しみにしている。継続して受講したい。 ・きららへ行く事を一度も嫌がったことが無い。 ・毎日楽しく通所できているので親としても嬉しい。 ・楽しみにしているし、行き帰りにいつも笑顔が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様にとってきららが安心して楽しく過ごせる場であるよう、日々職員間で話し合い、支援方法や活動内容を検討していきます。
	16	事業所の支援に満足していますか	36	1	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を取り入れてくださり、子どもも楽しみにしている。 ・いろいろな学校の友だちと関わることが出来て心の支えになった。 ・大変満足している。 ・親子で大変満足している。ありがたい環境に感謝している。 ・最初は良かったが、年数が経つにつれ、はじめの良さが薄れていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人の支援の質の向上を図り、よりよい療育支援ができるよう日々考えていきます。

公表：2023年3月24日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

職員数：8名 回収数：8枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見・工夫している点、改善点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	・密にならぬよう活動ごとに部屋を分けている。 ・運動場など外活動も取り入れお子様がのびのびと動くことができる場所を確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	1	・現在の配置数は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			・施設全体が、バリアフリーである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1		・月に1回、会議を実施し、日々のミーティングの中で目標について振り返りを行い改善に向けて話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		・1年に1回、保護者の方に評価表アンケートを実施している。 ・アンケートの結果や意向をもとに職員で話し合い、業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		・年度末にホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	・第三者評価は今後検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・職員には研修の案内を掲示し、研修希望を聞いている。 ・法人内外の研修に定期的に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		・半年に1回はモニタリングを行い、お子様や保護者の方のニーズや課題の把握に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		・課題の整理表、スキルアップアセスメントシートを用いて、お子様の状況を確認している。 ・専門機関での検査をもとに話し合いをしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		・担当職員が中心に活動プログラムを考えている。 ・それぞれの担当が案を出し合ってチームで活動に取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・マンネリ化しないよう内容の工夫や季節に応じた活動などを計画し、必ず反省点や課題を話し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		・平日、休日、長期休暇などの利用時間に応じた課題を設定している。 ・計画書に記載している目標を達成するための支援方法を確認し、長期休暇日にはできるだけ個別での課題を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		・年齢や発達特性に応じて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・朝礼の中で共通理解をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		・申し送り事項は翌日の朝礼や連絡ノートなどで周知している。
関係機関や 保護者との 連携	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・気が付いた点等は必ず日誌に入力し、朝礼やミーティングで話し合いをしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・必ず半年に1回はモニタリングを行い、必要や要望があればその都度モニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			・保護者の方から連絡をいただく場合が多いが、学校から連絡をいただく場合もある。 ・何か問題が発生した場合は関係機関と家族の方が集まりケース会議を開催し、話し合いをしている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8				
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1			・対象児童がまだいない。 ※無回答1
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8				・必要に応じて専門機関と連携し、助言や研修を受けている。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1			・月に1回の法人内の行事(フェア)に参加し、地域の子どもたちとふれあう場を設けている。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8				・地域自立支援協議会ではないが、阿波市・吉野川市管内での子ども部会に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				・送迎時や電話、LINEなどでお伝えしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8				・ペアレント・トレーニングは当事業所では行っていないが、他機関での実施の案内や、情報提供はしている。相談があれば迅速に対応し、関係機関に繋げている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				・利用契約時や問い合わせがあった際に説明を実施している。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				・必要に応じて行っている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3			・コロナ禍の状況で行事を縮小していたが、少人数での「親子ふれあい会」などの行事を実施し短時間での話し合いの場を設けた。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				・きららだより、LINE連絡、ホームページで活動や行事の報告、予定を発信している。
	34	個人情報に十分注意しているか	8				
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				・様々な伝え方や発信の仕方に配慮し、意思の疎通を図ることを心掛けている。
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8				・月に1回、同法人内での行事(フェア)に参加し地域の方とのふれあいを大切にしている。	
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8				・マニュアルを作成しているが、お子様と一緒にシミュレーションし、実際に発生した想定で訓練を実施するととも家族の方にも伝えていきたい。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8				・事前に重要事項説明書にて保護者の方への説明、承諾を得ている。 ・今後身体拘束適正化委員会で話し合いを実施し、支援方法や法令について職員間で共通理解を図るようにしている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1			・保護者の方から事前に食物アレルギーの有無を確認し、対応している。 ・アレルギー検査をしている児童は、検査表のコピーを任意で頂いている。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1			・毎月、リスクマネジメント会議を開催し、ヒヤリハットや事故未然防止について話し合いを実施している。 ・毎月のヒヤリハット事例を事例集を作成し、次年度の改善に役立っている。